



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社
 コード番号 5481 URL <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 眞哉

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 菅野 申一

TEL 079-235-6004

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	203,686	46.3	1,521	81.5	1,082	86.6	29	99.6
2019年3月期第3四半期	139,231	20.5	8,215	11.1	8,093	11.5	7,181	19.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 10,449百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 4,692百万円 (40.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	0.54	
2019年3月期第3四半期	222.95	

2019年6月19日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行い、また、2019年12月25日開催の取締役会決議に基づき自己株式の消却を行っております。1株当たり四半期純利益については、当該自己株式の取得および消却の影響を考慮しております。なお、自己株式の取得および消却については2019年6月19日公表の「自己株式取得に係る事項の決定および自己株式の消却に関するお知らせ」および2019年12月25日公表の「自己株式の消却に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	328,848	185,035	55.1
2019年3月期	374,246	200,200	52.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 181,083百万円 2019年3月期 195,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		45.00		24.00	69.00
2020年3月期		15.50			
2020年3月期(予想)				0.00	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	39.9	1,900		2,300		2,800		50.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2019年6月19日開催の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行い、また、2019年12月25日開催の取締役会決議に基づき自己株式の消却を行っております。連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当該自己株式の取得および消却の影響を考慮しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	54,507,307 株	2019年3月期	57,437,307 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	12,887 株	2019年3月期	1,212,166 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	55,654,473 株	2019年3月期3Q	32,213,715 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期（2019年4月1日～2019年12月31日）におけるわが国経済は、個人消費と雇用環境の改善を背景として緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦が世界経済に与える影響、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念などによる海外経済の減速によって、生産や輸出の落ち込みがみられ、企業の業況判断は製造業を中心に慎重さが増しております。

特殊鋼業界におきましては、前年度後半からの工作機械、ロボット、半導体製造装置など一部の向け先への調整の動きが、昨年夏頃に自動車、産業機械、建設機械向け等、主要需要業界全体に広がったことなどから、受注状況は急速に悪化しました。これにより特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を下回る水準で推移しました。

このような中、当社グループの売上高は、当社単体の売上数量は減少したものの、当第1四半期からスウェーデンの子会社Ovakoを連結対象としたことなどにより、前年同期比644億55百万円増の2,036億86百万円となりました。利益面では、当社単体の営業利益が売上数量の減少や副資材価格の上昇、修繕費の増加、数量減に伴うコストアップなどにより減少したこと、Ovakoおよびインドの連結子会社MSSSののれん償却費の増加などにより、営業利益は前年同期比66億93百万円減の15億21百万円、ROS（売上高営業利益率）は0.7%（前年同期は5.9%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の減に加えて、前年同期にMSSSを連結子会社化したことにもなう段階取得に係る差益（14億59百万円）を計上していたことなどにより前年同期比71億52百万円減の29百万円となりました。

当第3四半期損益の概要(2019年4月1日～2019年12月31日)

(単位:億円)

	当第3四半期	前年同期	差引増減	増減率(%)
売上数量(千t)	1,283	881	402	+45.6
(内 当社単体)	(682)	(802)	(△120)	(-15.0)
(内 Ovako) (注2)	(526)	(-)	(526)	(-)
(内 MSSS) (注2)	(75)	(79)	(△3)	(-4.4)
売上高	2,037	1,392	645	+46.3
営業利益	15	82	△67	-81.5
(内 当社単体)	(41)	(76)	(△35)	(-45.8)
(内 Ovako) (注2)	(4)	(-)	(4)	(-)
(内 MSSS) (注2)	(△6)	(0)	(△7)	(-)
(内 のれん償却費)	(△21)	(△2)	(△19)	(-)
経常利益	11	81	△70	-86.6
(同 のれん償却前)	(32)	(83)	(△51)	(-61.2)
親会社株主に帰属する四半期純利益	0	72	△72	-99.6
(同 のれん償却前、段階取得差益(注3)計上前)	(22)	(59)	(△38)	(-63.5)

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) Ovakoは当第1四半期から、MSSSは前第2四半期から損益を連結しております。

(注3) 前年同期に計上したMSSS連結子会社化にもなう段階取得に係る差益(14億59百万円)

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

当第3四半期の売上高は、当社売上数量は減少したものの、当第1四半期からOvakoを連結対象としたことなどにより、前年同期比660億99百万円増の1,934億59百万円となりました。営業利益は、Ovakoの営業利益の計上はありましたが、当社売上数量の減少や副資材価格の上昇、OvakoおよびMSSSののれん償却費の増加などにより、前年同期比57億47百万円減の11億24百万円となりました。

粉末事業

当第3四半期の売上高は、売上数量の減少や売上単価の低下などにより、前年同期比5億54百万円減の31億57百万円となりました。営業利益は、売上数量の減少や売上単価の低下などにより、前年同期比4億24百万円減の1億57百万円となりました。

素形材事業

当第3四半期の売上高は、為替変動による外貨建て売上高の増はありましたが、売上数量の減少などにより、前年同期比18億83百万円減の133億55百万円となりました。営業利益は、為替変動による売上高の増加や販売構成の改善はありましたが、売上数量の減少などにより、前年同期比5億18百万円減の1億53百万円となりました。

その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第3四半期の売上高は前年同期比63百万円増の11億83百万円、営業利益は、前年同期比9百万円増の36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産残高は、受取手形及び売掛金の減少、たな卸資産の減少などにより、前期末比453億97百万円減の3,288億48百万円となりました。負債残高は、支払手形及び買掛金の減少、借入金およびコマース・ペーパーの減少などにより、前期末比302億32百万円減の1,438億12百万円となりました。純資産残高は、その他の包括利益累計額の減少などにより、前期末比151億64百万円減の1,850億35百万円となりました。この結果、当第3四半期末におけるD/Eレシオ（純資産残高に対する有利子負債残高（現預金残高控除後）の割合）は0.31（前期末は0.34）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米中貿易摩擦の影響等による海外経済減速、主要需要業界における調整の長期化、特殊鋼業界における国際競争の激化など、当社グループをとりまく事業環境は非常に厳しい状況にあります。

こうした中、当社グループは、第10次中期経営計画「Sanyo Global Action 2019」に掲げたとおり、経営理念『信頼の経営』のもと、生産構造改革の実行などによる事業基盤の強化、技術先進性のさらなる追求、「高信頼性鋼の山陽」のグローバルブランド化を推進することで、競合激化、原料・副資材・エネルギー価格の上昇等の厳しい経営環境においても、人・技術・利益の持続的成長を追求してまいります。また、日本製鉄、Ovakoとの連携に関しましては、当社およびグループ会社のポテンシャルを最大限発揮し、相乗効果の早期発現を図ってまいります。

なお、足下の受注状況から当社単体の下期売上数量が前回開示時点(2019年10月30日)の想定に比べて減少するとみられることなどから、通期の連結業績予想を次のとおり修正いたしました。

2020年3月期通期連結業績見通し

売上高	2,600億円(前回予想比△170億円)
営業利益	△19億円(" △59億円)
経常利益	△23億円(" △53億円)
親会社株主に帰属する当期純利益	△28億円(" △44億円)

今回の業績予想の修正により、2020年3月期下期の損益が赤字計上の見通しとなりましたので、誠に遺憾ながら、期末配当の実施を見送らせていただく予定といたしました。このような事態となりましたことを重く受け止め、まずは経営責任を明確にするために役員等報酬の一部返上を行うとともに、雇用調整助成金制度を活用した休業等(雇用調整)や管理職給与の一部自主返上等の収益改善対策を実施し、早期の収益改善を図ってまいります。

業績予想の修正等に関しましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」、「2020年3月期(第108期)配当予想の修正に関するお知らせ」および「緊急収益改善対策の実施に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,385	17,632
受取手形及び売掛金	75,201	62,256
電子記録債権	7,371	6,688
商品及び製品	26,268	21,912
仕掛品	43,734	37,258
原材料及び貯蔵品	25,489	22,722
未収還付法人税等	61	1,564
親会社株式	1,127	—
その他	10,083	3,863
貸倒引当金	△173	△176
流動資産合計	211,549	173,724
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	59,959	57,074
その他(純額)	43,886	48,264
有形固定資産合計	103,846	105,338
無形固定資産		
のれん	42,400	36,307
その他	3,189	3,095
無形固定資産合計	45,590	39,403
投資その他の資産	13,259	10,382
固定資産合計	162,696	155,124
資産合計	374,246	328,848
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,000	26,554
短期借入金	52,834	37,088
コマーシャル・ペーパー	8,000	—
未払法人税等	2,615	168
賞与引当金	2,180	1,010
役員賞与引当金	97	—
環境対策引当金	169	76
その他	22,563	26,029
流動負債合計	127,461	90,926
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	20,508	25,658
役員退職慰労引当金	48	58
債務保証損失引当金	3	2
環境対策引当金	143	134
退職給付に係る負債	11,265	12,225
その他	4,614	4,806
固定負債合計	46,584	52,886
負債合計	174,045	143,812

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,800	53,800
資本剰余金	55,896	51,486
利益剰余金	85,715	83,540
自己株式	△1,923	△19
株主資本合計	193,489	188,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,177	1,581
繰延ヘッジ損益	—	82
為替換算調整勘定	△39	△6,090
退職給付に係る調整累計額	70	△3,297
その他の包括利益累計額合計	2,209	△7,723
非支配株主持分	4,501	3,951
純資産合計	200,200	185,035
負債純資産合計	374,246	328,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	139,231	203,686
売上原価	118,833	177,418
売上総利益	20,397	26,267
販売費及び一般管理費	12,182	24,746
営業利益	8,215	1,521
営業外収益		
受取利息	43	110
受取配当金	250	211
受取賃貸料	47	220
その他	214	114
営業外収益合計	556	656
営業外費用		
支払利息	346	622
為替差損	—	335
その他	332	138
営業外費用合計	678	1,095
経常利益	8,093	1,082
特別利益		
投資有価証券売却益	79	849
固定資産売却益	—	46
段階取得に係る差益	1,459	—
特別利益合計	1,538	895
特別損失		
投資有価証券売却損	—	646
固定資産除売却損	408	369
特別損失合計	408	1,016
税金等調整前四半期純利益	9,223	961
法人税、住民税及び事業税	1,947	536
法人税等調整額	231	801
法人税等合計	2,178	1,338
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,045	△376
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△136	△406
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,181	29

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,045	△376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,634	△596
繰延ヘッジ損益	—	82
為替換算調整勘定	△246	△6,172
退職給付に係る調整額	△66	△3,367
持分法適用会社に対する持分相当額	△406	△18
その他の包括利益合計	△2,353	△10,073
四半期包括利益	4,692	△10,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,947	△9,902
非支配株主に係る四半期包括利益	△255	△547

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2019年6月19日開催の取締役会において自己株式の取得を決議し、自己株式1,730,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が2,506百万円増加しております。

また、2019年12月25日開催の取締役会において自己株式の消却を決議し、2019年12月27日付で自己株式2,930,000株の消却を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ4,410百万円減少しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することといたしました。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が2,040百万円増加し、流動負債の「その他」が682百万円および固定負債の「その他」が1,365百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至 2018年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	120,176	3,712	15,239	139,128	103	139,231	—	139,231
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,183	—	—	7,183	1,017	8,200	△8,200	—
計	127,359	3,712	15,239	146,311	1,120	147,432	△8,200	139,231
セグメント利益	6,872	582	671	8,126	27	8,153	61	8,215

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	187,083	3,157	13,355	203,596	89	203,686	—	203,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,375	—	0	6,375	1,094	7,470	△7,470	—
計	193,459	3,157	13,355	209,972	1,183	211,156	△7,470	203,686
セグメント利益	1,124	157	153	1,435	36	1,472	49	1,521

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業等であります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

参考資料

2020年3月期 第3四半期決算発表

1. 当第3四半期の業績と通期の予想

(単位：千t、百万円、%)

	当第3四半期	前第3四半期	増減	増減率	通期	前期	増減	増減率
	(実績)	(実績)			(予想) (※)	(実績)		
売上高	203,686	139,231	64,455	46.3	260,000	185,818	74,181	39.9
営業利益 (ROS)	1,521 (0.7)	8,215 (5.9)	△6,693 (△5.2)	△81.5	△1,900 (△0.7)	10,123 (5.4)	△12,023 (△6.1)	—
(内、単体)	4,127	7,620	△3,493	△45.8	3,100	9,757	△6,657	△68.2
(内、Ovako)	446	—	446	—	△600	—	△600	—
(内、MSSS)	△642	12	△655	—	△900	△210	△689	—
(内、のれん償却)	△2,133	△202	△1,931	—	△2,900	△305	△2,594	—
経常利益	1,082	8,093	△7,010	△86.6	△2,300	9,437	△11,737	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	29	7,181	△7,152	△99.6	△2,800	7,721	△10,521	—
売上数量	1,283	881	402	45.6	1,616	1,171	445	38.0
(内、単体)	682	802	△120	△15.0	855	1,061	△206	△19.4
(内、Ovako)	526	—	526	—	667	—	667	—
(内、MSSS)	75	79	△3	△4.4	94	110	△16	△14.7
設備投資	14,259	7,671	6,588	85.9	27,000	10,618	16,382	154.3
減価償却費	10,989	6,914	4,075	58.9	16,000	9,338	6,662	71.3

(※) 予想(1月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況) 23.0千円/t、原油(ドバイ) \$65/BL、為替110円/\$、120円/€

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、百万円、%)

	2019年3月期					2020年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	43,912	45,823	49,496	46,586	185,818	77,228	68,863	57,594
営業利益 (ROS)	3,680 (8.4)	2,156 (4.7)	2,378 (4.8)	1,907 (4.1)	10,123 (5.4)	2,450 (3.2)	167 (0.2)	△1,096 (△2.0)
経常利益	3,876	1,873	2,343	1,344	9,437	2,296	△62	△1,151
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,987	1,073	2,121	539	7,721	1,788	△409	△1,349
売上数量	281	291	310	290	1,171	479	423	381
(内、単体)	281	251	270	258	1,061	255	207	219
(内、Ovako)	—	—	—	—	—	196	191	139
(内、MSSS)	—	40	39	31	110	28	25	23

2. 当第3四半期の営業利益増減要因(対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 原燃料価格	27	1. 販売数量	41
2. 販売価格・構成	6	2. 諸資材・外注、物流費	23
3. 変動費のコストダウン	7	3. 修繕費	6
		4. 固定費等	5
		5. のれん償却額	19
		6. 連結子会社利益	13
計(A)	40	計(B)	107
		差引(A) - (B)	△67